



起業・継業のためのローカルビジネススクール

篠山イノベーターズスクール

Sasayama Innovators School

2018年度 入学生 募集

5月スタート



みつかる、 つながる、 カタチにできる。

地域の資源を活かした新しいしごと、 農村の未来を創る人のためのスクール

いま、「農村だからこそできる、新しいしごと」を創り出すチャレンジが、求められています。

人口減少・流出により、日本の農村の豊かな資源—受け継がれてきた、自然・歴史・文化・農地など—を、維持することが難しくなってきています。たとえ、農村に移住・定住したくとも、仕事がないという現実的な問題が立ちはだかります。

篠山イノベーターズスクールは、農村で、夢や仲間や資源を、みつけ、つなげ、しごととして、カタチにすることを支援するために、神戸大学との連携のもと丹波篠山に開講されたローカルビジネススクールです。



[神戸大学の研究者]

各分野の専門研究者から講義や助言を受け、語らう機会を提供します。

- ・中塚 雅也 (農村イノベーションラボ ディレクター)
- ・小野 雅之 (農学研究科 教授)
- ・忽那 憲治 (経営研究科 教授)
- ・奥村 弘 (文学研究科 教授)
- ・鶴田 宏樹 (学術・産業イノベーション創造本部 准教授)



[コーディネーター]

ラボスタッフが受講生に伴走し、地域のヒト・モノ・カネのマッチングをお手伝いします。

- ・橋田 薫 (農村イノベーションラボ)
- ・眞鍋 邦大 (農村イノベーションラボ)
- ・谷垣 友里 (農村イノベーションラボ)
- ・木原奈穂子 (神戸大学 学術研究員)



[ラボの実践コミュニティ]

スクール外でも、様々な学習会やプロジェクトのコミュニティに参加できます。

- ・ラボオープントーク
- ・Rural Learning Network
- ・赤じやがプロジェクト
- ・ササヤマエキマルシェ実行委員会
- ・無人駅の活用案を考えよう！プロジェクト
- ・農村の民泊プロジェクト



篠山イノベーターズスクール



[地域の創業支援者]

篠山市内外の関係機関の助言やサポートを受ける機会を提供します。

- ・篠山市
- ・篠山市商工会
- ・地域金融機関
- ・日本政策金融公庫
- ・兵庫県よろず支援拠点
- ・篠山移住相談窓口など



[地域の起業家・実務者]

様々な分野で地域ビジネス実践者から学び・つながる機会を提供します。

- ・吉良 正博（吉良有機農園）
- ・内田 圭介（ミドリカフェ）
- ・能口 秀一（有限会社ウッズ）
- ・森 聖太（悠ツアー）
- ・渡部 康子（美し山の草木舎）
- ・西田 博一（futaba cafe）
- ・原田 一博（株式会社morondo）
- ・西島 よき（まちPRオフィス）
- ・林 健二（一般社団法人TSUMUGI）
- ・山本 和代（街角企画株式会社）

神戸大学・篠山市 農村イノベーションラボ

JR篠山口駅舎にある学びと交流の拠点です。スクールのメイン教室。

- ・自主学習、作業スペースとして利用可能
 - ・図書、資料の貸し出しサービス
- ※スタッフ在室時のみ。事前にアポイントください。



[地域でのオフィス]

市内の地域に密着したオフィスや作業スペースを紹介します。

- ・コワーキングスペース（篠山FS）
- ・シェアオフィス（地域ラボなど）
- ・空き家バンク、移住相談への仲介



スクールから拡がる“地”と“知”

セオリー

ノウハウ

ネットワーク

農村での起業・継業には、経営スキルだけでなく、地域社会と確かな関係性を構築していくことも求められます。スクールではあなたが農村で実現したいしごとやライフスタイルをカタチにするためのセオリー（知識）とノウハウ（技術）とネットワーク（仲間）を、地域全体の“ビジネスエコシステム”を通して提供します。

セオリーは神戸大学を中心とする大学教授などから、ノウハウは様々なタイプの起業家から、ネットワークはコーディネーターが用意する様々な機会から得られます。

また、起業の際の専門家の助言、ファンディング、篠山市内でのコワーキングオフィスやインキュベートオフィスなどの橋渡しもいたします。

1年間のプログラムを通じて、あなたは起業・継業へのスタートをきくことができるようになっているでしょう。

ノウハウと姿勢を学ぶ

CBL (Community Based Learning)

1科目必修(各科目全6回)

農村ビジネス実践者ののもと、現場（コミュニティ）での体験を通してノウハウや姿勢を学びます。

※CBLは、最大8名の少人数制。1つのみ選択可能です（空きがある場合は、開講後ご案内いたします）。

強みを活かす農場経営

木曜夜/日曜夜 6-8月

丹波の有機農家として、水田、野菜、豆などの生産ほか、酪農・養鶏、農産加工、農業体験や宿泊、カフェなど多角的・複合的に経営展開を続けてきた婦木農場の経営に学び、自身の強みを活かす農業経営を考えます。



講師 婦木 克則

婦木農場 代表

学べること

- 養鶏・酪農と複合化し、加工と組み合わせる有機農業の仕組み
- 販売や交流など消費者との関係づくり
- 地域で農業を始め、続けるための姿勢や経営の考え方

開講日 6/7、6/21、7/5、7/19、8/12、8/23

売れる農産品の企画開発

火曜夜/土曜昼/日曜昼 6-8月

マーケット分析に基づく農産品の開発と、そのための産地連携、効果的な販売・販促戦略など、消費者の目線からみた売れる農産品の生み出し方を学びます。



講師 高田 成

有限会社 篠ファーム
代表取締役

学べること

- 顧客創造に基づく農産品づくりの要点
- 高付加価値を生み出す生産・商流・物流の構築方法
- 路線開拓と販促・商品提案の要点

開講日 6/12、6/26、7/15、7/24、7/31、8/11

人が集まる農泊マネジメント

土/日/月祝 昼 6-9月

移住先でゲストハウスを開業した実例をもとに、農村での宿泊施設開設のプロセス、運営方法、地域連携を高めるポイント等を学びます。第一回目に奈良県吉野郡のゲストハウスにて宿泊・農業体験をします。



講師 秋谷 奈美

ゲストハウスAPRICOT

学べること

- 民泊やゲストハウス等の開業手順
- 宿泊サービスの提供と管理方法
- 地域との連携関係構築の要点

開講日 6/23から1泊、7/15、9/9（各日2コマ連続）

地域ビジネスプロデュース

月曜夜/土曜昼 6-8月

ササヤマルシェなど各地のイベントや地域ビジネスの立上げを事例に、集客のためのポイントや、収益化へのヒントを学び、地域の課題を事業によって解決するビジネスプロデューサーを目指します。



講師 中原 大輔

地域プロデューサー /
ササヤマルシェ実行委員長

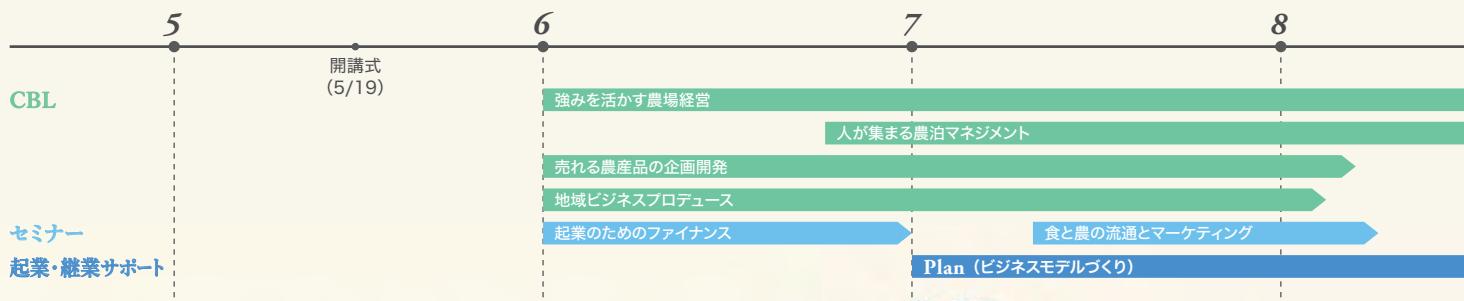
学べること

- 地域のプロデューサーとして生き抜くための戦略
- 地域資源を活用したプロデュース型の課題解決手法
- 地域イベントの集客と収益事業化の要点

開講日 6/4、6/18、7/2、7/14、7/23、8/6

開講スケジュール Schedule

※カリキュラム修了には、CBL1科目、セミナー2科目の単位取得、「ビジネスプラン」の提出が必要です。



農村ビジネスのセオリーを学ぶ

セミナー

2科目必修、最大6科目選択可能（各科目全6回）

ビジネスで必要な、基礎的な知識やスキルを、大学教授などから学びます。

農村ビジネス基礎知識

食と農の流通とマーケティング

土曜 昼 | 7-8月

学べること

- 流通の役割と仕組み
- マーケティング理論の基礎
- 食と農のマーケティングの考え方



講師 小野 雅之

神戸大学大学院
農学研究科 教授

開講日 7/14、7/21、7/28、8/4、
8/11（2コマ連続）

農村イノベーション

土曜 昼 | 10-12月

学べること

- 農業農村と地域づくりの最前線の動向
- イノベーションの発生原理
- 地域資源の管理と活用方法



講師 中塚 雅也

神戸大学大学院
農学研究科 准教授

開講日 10/27、11/10、11/24、12/8、
12/22（2コマ連続）

地域の成り立ちと構造

月曜 夜 | 11-1月

学べること

- 村社会の成り立ちと地方自治制の展開
- 地域の空間特性の読み解き方
- 歴史文化遺産と景観の保全活用の方向性



講師 奥村 弘
神戸大学大学院
文学研究科 教授



講師 横山 宣致
公財 丹波の森研究所
専門研究員 / 篠山市
まちづくり部景観室長

開講日 11/19、11/26、12/3、12/17、1/14、1/28

農村ビジネス基礎スキル

起業のためのファイナンス

土曜 昼 | 6月

学べること

- 利益を生み出す構造の理解
- 利益を生み出すためのリスクの分析
- 成長ステージ別のリスクと資金調達手段の関連性の理解



講師 忽那 憲治

神戸大学大学院
経営学研究科 教授 /
科学技術イノベーション
研究科 副研究科長

編集・デザインスキル

水曜 夜 | 8-9月

学べること

- 伝わる言葉で発信するための心構えや
スキル
- デザインの基礎と流れ
- デザイナーや専門家との連携のコツ



講師 二階堂 薫

コピーライター

開講日 8/22、8/29、9/5、9/12、
9/19、9/26

ビジネスモデルデザイン

日曜 昼 | 10-11月

学べること

- ビジネスマodelの構築手法
- 顧客から学び価値を生み出すプロセス
のデザインスキル
- マネタイズにつながるカスタマー
ジャーニー・デザイン



講師 岡田 明穂

関西dラボ 代表理事 /
ビジネスモデルイノベーション
協会 理事

開講日 10/14、10/28、11/11
(各日2コマ連続)

9

10

11

12

中間発表会

編集・デザインスキル

ビジネスモデルデザイン

Do / Check (地域での実践支援)

実現に向けてPDCAを伴走する 起業・継業サポート

自由選択

ビジネスモデルづくりから地域での実践、離陸までを、実践者や専門家とともに伴走型で支援します。

Plan ビジネスモデルづくり支援

事業計画・収支計画といつても、なかなか一人では考えにくいもの。篠山イノベーターズスクールでは、仲間やコーディネーター、金融機関のスタッフ、経営の専門家らを交えて、ゼミ形式でビジネスプランをブラッシュアップしていきます。

- ビジネスモデル構築ゼミ（月1回程度開催）
- スタッフ、ソーターへの個別相談随時受付



多彩な
コーディネーター
によるサポート



篠山イノベーターズ
スクール事務局長
橋田 薫

Do / Check 地域での実践支援

スクール生一人一人と丁寧にコミュニケーションし、必要に応じて個別面談も実施。それぞれの課題や状況に応じて、必要なサポートを行ってまいります。地域での実践を通して、ビジネスモデルのさらなるブラッシュアップを目指します。

- 資源・人とのネットワーク
- 個別のアクション、事業推進の支援



真鍋 邦大



谷垣 友里

Action 離陸支援

篠山市の政策や、創業支援の専門家、地域金融機関、地域の自治組織などと連携することにより、空き場を活用した仕事場づくりや、移住定住、開業資金調達なども仲介支援します。

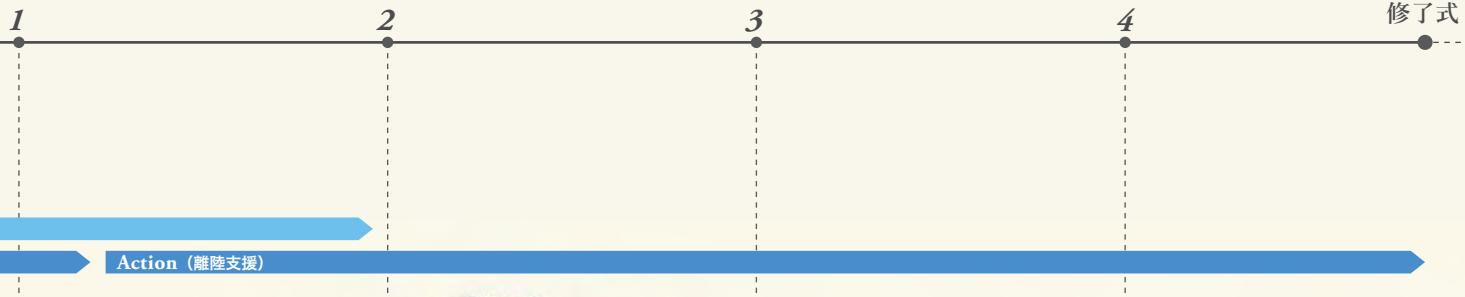
- 地域内へのオフィス開設の仲介
- 開業資金調達への仲介
- 篠山市への移住・定住の仲介
- 法務・税務等専門家連携
- 修了生で希望する方の、篠山市地域おこし協力隊への推薦*



(*募集がある年のみ)



神戸大学学術研究員
木原 奈穂子



受講生の声 Voice



地方移住をより豊かにする環境

河口 英樹

(会社員/教育・学習支援業)

地方移住を考えていたときこのスクールに出会い、「ローカルで自分のしごとをつくる」というキャッチコピーに惹かれて入学しました。会社終わりに大阪から電車で通う学び舎には、様々な出会いがありました。今では移住先の篠山に多くの知り合いもでき、豊かな環境を得て満足しています。

人との繋がりが大きな収穫

岸田 万穂

(古家具職人)

内容が実践的で、良い学びになったのは勿論、地縁のない篠山に来て、異業種で面白い活動をしている、これからしようとしている「人」と繋がれたのがとても大きな収穫でした。これから、ここで出会えた仲間と始めるプロジェクトが楽しみです。

起業を具体化、充実のスタートアップ

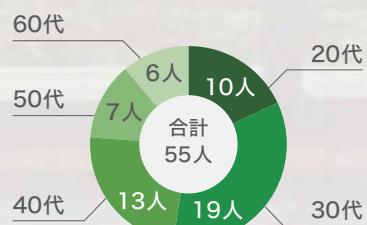
高橋 俊 (写真左)

(大学院生)

第一線で活躍する講師の現場を体感できたことが大きな財産。講師陣やコーディネーターとの濃密なディスカッションの末に、プランを具体化できました。「いつでも・なんでも相談できる」、そんな関係性のおかげで、充実したスタートアップを迎えていました。

受講生のプロファイル Profile

■年代別分布



■居住地の分布



修了後のカタチ Future

起業 7名 / 55名

起業準備中 33名

スクール生55名中7名が既に起業しています。さらに33名が起業準備中。修了生の起業・実践の事例をご紹介します。他にも、起業・継業、地域での実践事例多数。

農業を継業×映像制作

橋本 豊彦



実家や近隣の農地を借り受け営農する傍ら、スキルを活かし映像制作の仕事を行う。Uターンを機に、地域づくりにも積極的に参画。狩猟や新しい仕事づくりにも取り組む。

古民家ゲストハウス開業

小寺 亜也香



農村部にUターン移住し、古民家ゲストハウス「Cuddy's house」を開業。バックパッカーなど宿を訪れる人に、地域の名所や人の魅力を伝えている。

地域ブランドの立ち上げ

渋谷 啓子



地域らしさを追求したオリジナルブランド「篠山ターチン」を発案し、工房を設立。多様な主体と連携し、商品開発を実践中。空き店舗でのショップ開業を目指す。

福祉のケア拠点オープン

金川 圭美 (写真左)



セラピストの経験を生かし「まちの保健室カフェ to be」を開業。心身のケアメニューやランチ提供のほか、訪問ケアや企業向けプログラムにも取り組む。

教室は、JR篠山口駅直結、 神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ。

農村イノベーションラボは、農村地域の課題解決と発展のため、
現場発のイノベーション、地域に根ざした教育・研究に取り組む拠点です。

篠山市には、神戸大学農学部の前身である兵庫農科大学が1966年までありました。多くの学生や研究者が学び、地域に密着した研究をおこなってきた歴史を振り返り、再構築する形で神戸大学と篠山市は地域連携活動を開始しました。その活動は約10年におよび、これまで多様な研究、教育、実践が展開されてきました。そうした中、篠山市の地域創生の核として設立されたのが、神戸大学・篠山市農村イノベーションラボです。地域創造研究、地域人材育成、地域情報共有を柱にして、農村の未来を描くような、創造的・実践的な活動をおこなっています。幅広く活発な交流のなかで、アイデアとチャレンジあふれる場となることを目指しています。



電車で通える、ローカルビジネススクール

[募集人数] 30名 [応募期間] 2018年2月1日(木) ~ 4月8日(日)

[応募方法] 「篠山イノベーターズスクール」ホームページのエントリーフォーム または FAXより
※FAXをご希望の方はお問い合わせください。エントリーシートをお送りします。

[学費] 80,000円 (税込価格・振込手数料別)
(CBL (必須1科目)、セミナー (最大6科目)、起業・継業サポート (自由選択)、を全て含んだ1年間のプログラム)
※教材費やフィールドワークのための交通費等が別途かかる場合がございます。大学生 (10代、20代に限る) について、学費助成制度もございます。詳細はHPまたはお問い合わせください。

[お申し込みから開講までの流れ] ※原則、書類をもとに選考 (場合により面談) させていただきます。



お問い合わせ先



篠山イノベーターズスクール 事務局
〒669-2212 兵庫県篠山市大沢165-3
神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ
TEL&FAX 079-506-6628
mail info@sasayamalab.jp
HP <http://school.sasayamalab.jp>

[電車] JR福知山線 (JR宝塚線) 篠山口駅下車すぐ
JR大阪駅から約1時間 / JR三ノ宮駅から約1時間半

[自動車] 舞鶴若狭自動車道 丹南篠山口ICから約5分
大阪・神戸から約1時間 / 福知山・滝野社ICから約30分

